

2016年度秋の三者総会 議事録

2017年度三者事務局校 筑波大学 2016年12月9日（金）

本総会は YONUPA-ML 上で、平成 28 年 11 月 29 日（火）から平成 28 年 12 月 9 日（金）まで*1開催されました。提出された議案、並びにその可否と議論した内容につきましては以下の通りです。

2016 年度決算（2016 年度センター校 九州大学）

決算の報告が行われ、承認されました。

2017 年度予算案（2017 年度センター校 名古屋大学）

予算案が提案され、承認されました。

予算案に関する議案書（2017 年度素粒子論パート準備校 広島大学）

広島大学から予算案作成に関しての議案書が提出されました。

それに対し名古屋大学から購入する機材の輸送・運用・管理に関する要望が提出されました。これに関しましては、ここに全文を記載いたします。

- 購入する撮影機材の輸送についての要望

議案書 10 ページ-11 ページに素粒子パートが購入する撮影機材についての今後の取り扱いについて書かれています。

特に、購入する撮影機材の輸送についてですが、概ね次のように把握しております。

「撮影機材の輸送について現役職校から夏の学校会場に送り、一度現役職校の大学へ送り返す。編集が終わり次第次の役職校に全ての機材を送る。この手間についての理由として 1.” 次の役職校が把握できない”、2.” 見知らぬ土地での郵送手続きの不安”、3.” 撮影したデータの編集”、の 3 つの理由が考えられるため一度現役職校に持ち帰ってから改めて次の役職校に送る」

この郵送の手間について、センター校から以下の意見を述べさせていただきます。

1. 次の役職校が把握できないことについてですが、次の素粒子パート準備校の担当する大学は、素粒子パート事務局校が把握しているはずですが、引き継ぎのマニュアルによると 2016 年度の素粒子パート事務局校が今年の 9 月の時点で 2018 年度の素粒子パート準備校を担当する大学を決めていることになっています。事前に次の担当となる大学を確認することは可能なように思えます。
2. 郵送手続きの不安については、事前に次の素粒子パート準備校について把握することが可能であるため、機材の輸送については「現素粒子パート準備校から夏の学校会場に送り、夏の学校が終了次第、直接、会場から次の素粒子パート準備校へ送る」とい

*1 開催期間は本来 1 週間ですが、今回は議案書の改訂があったため会期を延長いたしました。

う手続きを前もって行うことによってこの不安を解消できると思います。

3. 撮影したデータの編集については、
SDカードのみを各講義録作成校が一度各研究室の方に持ち帰っていただき、編集が終わり次第、次の素粒子パート準備校に郵送すれば良いと思います。
機材全てを一度現素粒子パート準備校の大学へ送り返してから次の素粒子パート準備校へ送る手間と送料を考えると、SDカードのみ持ち帰ってから次の素粒子パート準備校へ送った方が送料がかからないと思います。

まとめますと、センター校としては「購入する撮影機材の輸送について」以下のように取り扱うことが望ましいと考えております。

「購入した撮影機材については、夏の学校が始まる前に撮影機材全てを会場に送り届ける。夏の学校が終了次第、SDカード以外の撮影機材を次の素粒子パート準備校へ送る。

ここまでの手続きを夏の学校が開催される前に輸送会社を通して行っておく。SDカードについては一度各講義録作成校の方へ持ち帰り編集が終わり次第、郵送で次の素粒子パート準備校の方へ送る。」

- 購入する撮影機材の運用についての要望
今までは各研究室にある撮影機材または私物を利用して撮影していたと思いますが、購入物の引き継ぎの徹底化・破損した場合の保証（破損した私物に対して、夏の学校から保証することは難しいです）という理由から今後は三者夏の学校で購入した撮影機材のみを用いてほしいと思います。
- 購入する撮影機材の管理についての要望
「購入したビデオカメラ・SDカードを基研に預ける可能性についても検討している」といった内容の提案がありました。
これについてセンター校としては、学生間で運営されている三者夏の学校で購入した物品については、責任を持って学生間で管理すべきだと思います。他の研究機関に購入した物品の取り扱いをお願いするのは、学生が主体となって運営する研究会そのものの意義に反すると思います。
例外的なことがない限り、学生間で購入した物品は学生間で管理すべきだと思います。

以上の点につきましてはセンター校の意見を踏まえた上、春の三者総会において継続して審議することといたします。

その他の議案 (2017年度センター校 名古屋大学)

1. 引継ぎの早期化
2. 高エネルギーパートの存続の要否
3. 研究会の名称

以上3点についての議案が提出されました。これらについての意見は出なかったため、1. 及び2. については春の三者総会で審議、3. については継続審議といたします。